

5 JR 西千葉、京成みどり台地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	121.0ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 西千葉駅	44,770 人（平成 30 年度）
	京成みどり台駅	7,767 人（平成 30 年度）
バス便数	西千葉駅	186（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	西千葉駅西口	8（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	9 施設	
生活関連経路延長	約 2,640m	
500m 圏人口	7,514 人	※JR 西千葉駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次（500m）メッシュ）
500m 圏高齢者数	1,347 人	
500m 圏高齢化率	18%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

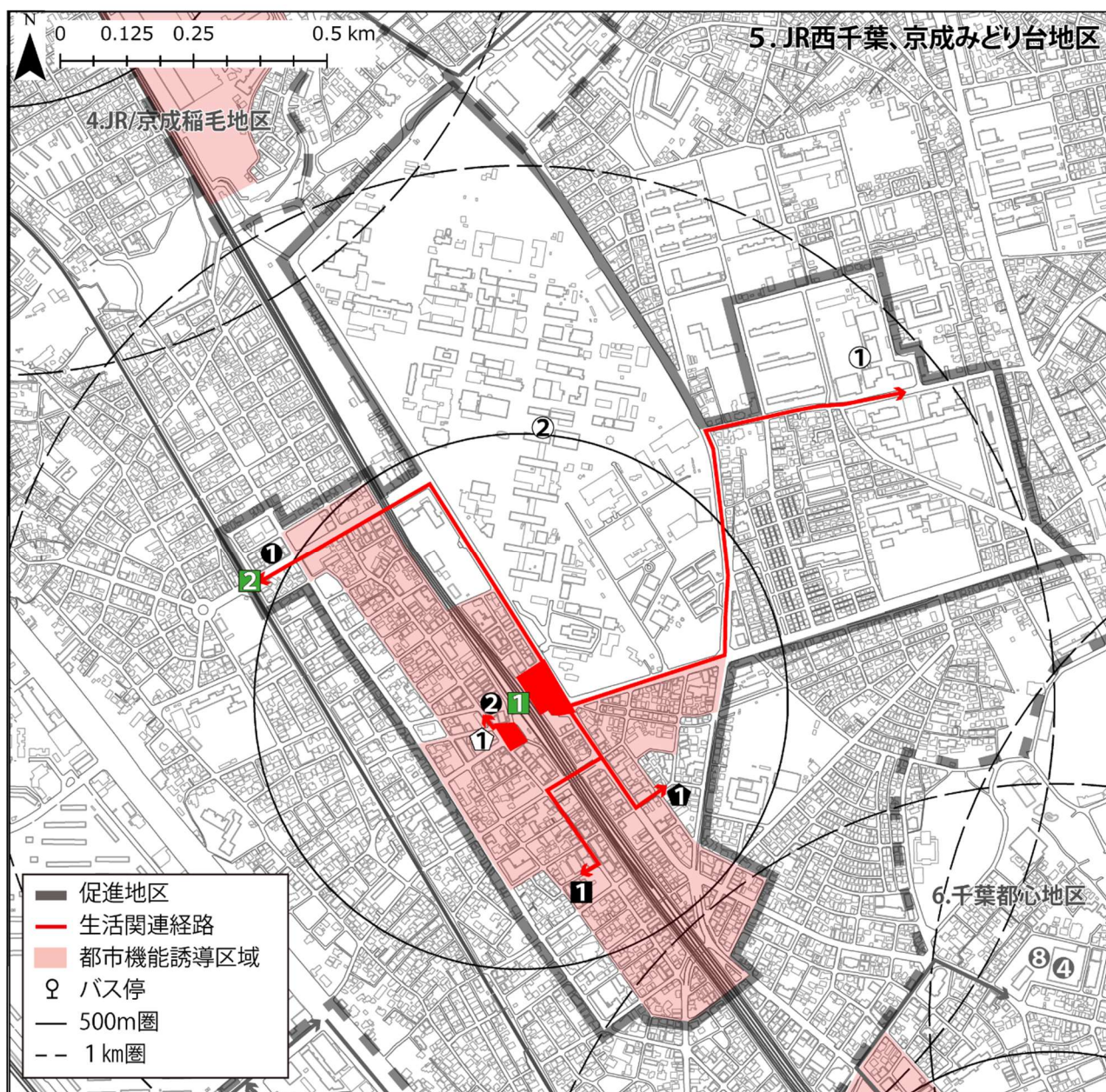
JR 西千葉、京成みどり台地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的となっており、高齢化率が比較的低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、病院や大学、大規模店舗などが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅及び公共公益用地(大学)であり、駅周辺に南北に長く都市機能誘導区域が設定されています。

JR 西千葉駅は、乗降客数が比較的多い駅です。バス便数は比較的少なく、北口側から作草部駅方面へアクセスしています。京成みどり台駅には路線バスがありません。

道路や主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、JR 西千葉駅南北の駅前広場は整備時期が古く、視覚障害者誘導用ブロックの規格や敷設方法が不適切な状況があったり、身体障害者用乗降場が無い(南口)などの課題があります。また、改札階が半地下となっており、長いスロープでのアプローチとなっていることから、駅前広場と駅の接続部における更なるバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	①	JR 西千葉駅
	②	京成みどり台駅
公共施設	①	千葉緑町郵便局
	②	西千葉駅前郵便局
集会施設	①	中央コミュニティセンター松波分室
保健施設 ・病院	①	増田病院
文化・教養	①	千葉経済大学
・教育施設	②	国立大学法人千葉大学
大規模店舗	①	西友西千葉店



JR 西千葉駅駅前広場



京成みどり台駅